



「校内研修の充実」編

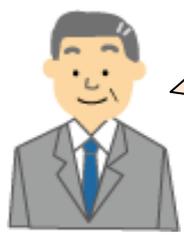
管内において、校内研修に独自の工夫を凝らし、その充実を図る学校が増えています。今回は、参加型の校内研修や授業改善などの視点の可視化についてまとめてみました。

『参加型の校内研修』

模擬授業

研修する教員同士が授業者と児童生徒になって、実際に授業を実施する方法です。児童生徒役の教師は、子どもの立場で授業を観ることができ、授業の工夫や改善の手立てに新たな気づきが生まれます。また、教師と児童生徒のそれぞれの立場からの話し合いができるため、より一層授業研究が深まることとなります。

- ～進め方（例）～
- ①当日の研究授業者が、作成した学習指導案に沿って授業を行う。
 - ②他の参観者は児童生徒役になって、児童生徒の予想される反応を考えながら発言したり活動したりする。
- ※事前に、授業者が児童生徒の特徴や学級の雰囲気の説明したり、職員間で授業の視点を共有したりしておく
- と、一層効果的な模擬授業が行える。
 - ③模擬授業後、授業の視点に沿って協議を行う。
- ※模擬授業を意図的に中断しながら協議を行う場合もある。
- ⑤協議内容をふまえて、授業改善につなげる。



模擬授業は、有効な手段です。ただし、実施することが目的にならないよう、学習指導案の検討から授業整理会まで一連の研修の流れの中に明確に位置付けて行いましょう。



(△) 45分模擬授業、その後に協議の予定でしたが、途中で意見交換が始まり、模擬授業が進みませんでした。

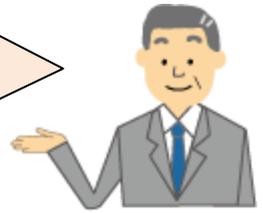


(○) 導入とまとめは説明にして、山場となる学び合う場面の模擬授業を行いました。その後協議を行い、改善を図ることができました。



(○) 導入場面15分を模擬授業、その後協議、そして再度導入場面の模擬授業を行うことで改善を図ることができました。

45分ないし50分を通して模擬授業を実施することもあれば、経験を積むにつれて、導入場面や山場となる場面、あるいは発問に留意して、というふうに焦点化して実施することもあります。模擬授業のねらいを明確にして、意図的・計画的に実施することが大切です。



ワークショップ

参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学び合ったり、創り出したりする学びと創造のスタイルです。授業整理会等を実施することで、参観授業の成果、課題、改善案を明確にまとめることができます。

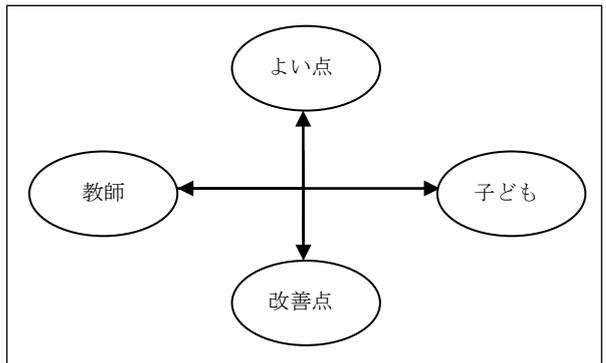
～進め方（例）～

- ①ファシリテーター（進行役）によるオリエンテーションを行う。
- ②テーマに即した活動（例：討議等）を行う。
- ③KJ法などを活用して、考えを引き出し整理する。
- ④グループでの活動の結果を発表する。

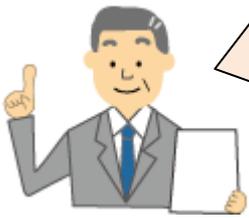
（例1）

	○○○	△△△
成果		
課題		
改善案		

（例2）



活用する表については、例1のマトリクス的なものや、例2の概念化シート的なものなど様々です。テーマに応じて使い分けてみましょう。



小中合同研修会

確かな学力の向上に向けて、小中9年間を見通した学習指導の視点が今後ますます大切になってきます。お互いに授業を見合うだけでなく、校内研修日を統一するなどして授業づくりや基盤づくりから話し合えると、授業力向上につながります。

小松市立安宅中学校・安宅小学校の取組

□小中合同の授業研究や教科部会を継続的に開催し、各教科の特質や児童生徒の現状に対して共通の認識をもって授業改善に取り組むようにしています。そのために、下記のような研修会などを設定して、「活用力を高める授業づくり」「学びを支える基盤づくり」に努めています。

- ・小中合同教科部会…各教科における小中共通の課題の確認、情報交換、対応策についての協議、学習指導案の作成
- ・小中合同授業研究会…中学校の研究授業における授業整理会を小中合同で実施、拡大学習指導案と附箋を活用したワークショップ型授業整理会
- ・小中授業参観…研究授業に加え、普段の授業についても小中相互に参観
- ・小中合同研修会…講演会の開催、教科別分科会ごとに協議、全体会で各教科の課題と対策の共有

『授業改善の視点の可視化』

「抽象的より具体的」、「複雑より単純」、「網羅的より焦点化」で徹底、共通実践しやすくなります。これらの視点は、目に触れるようにしておく、効果的です。



「より豊かな問題解決型学習にするための十か条」より抜粋

- ・教師が話しすぎていないか
- ・話を繰り返していないか
- ・肝心な場面でスモールステップになっていないか
- ・教師の準備した「正解」を当てるような授業になっていないか
- ・「この単元（授業）でどんな成長をさせたいか」というビジョンが明確か

（福井市立至民中学校）

